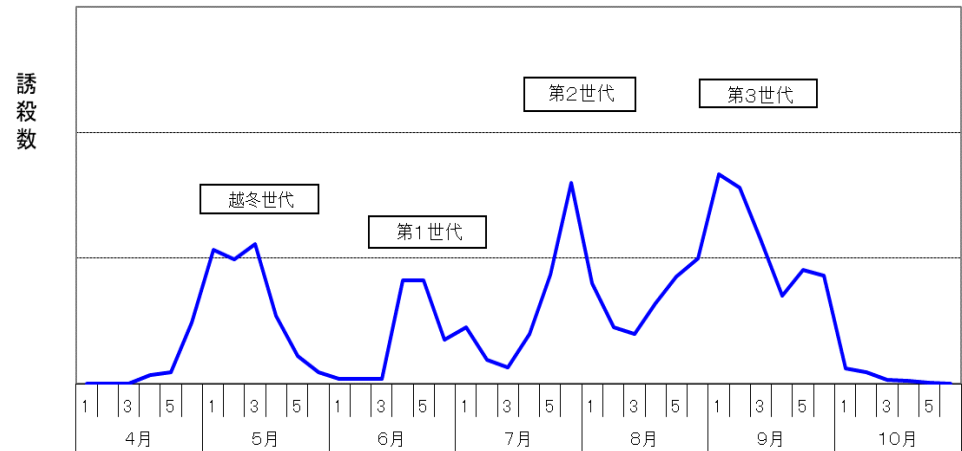


スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長〔令和8年(2026年)調査〕

病害虫防除部

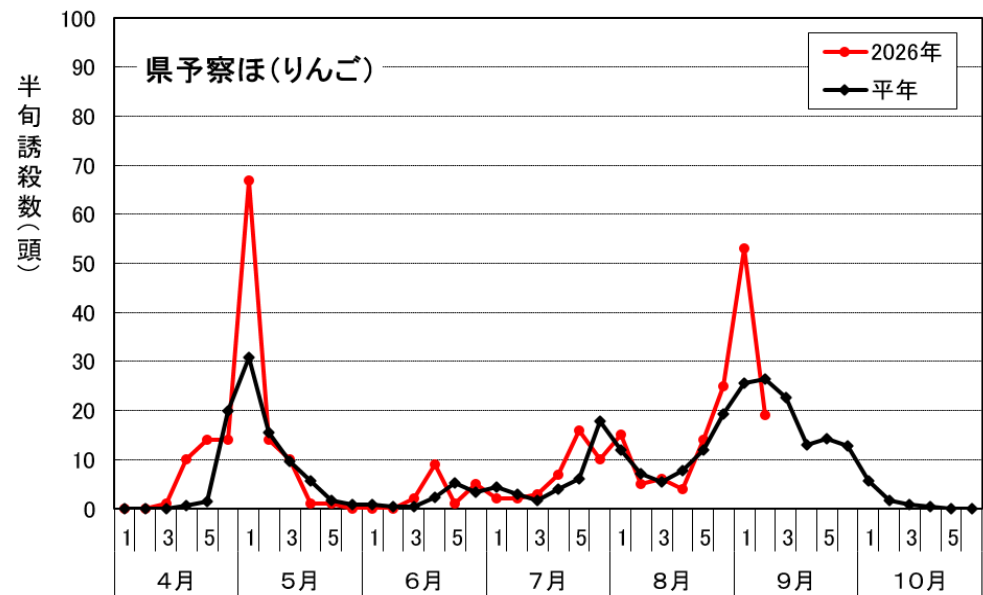
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年 3 ～ 4 回発生する。
- ・越冬世代成虫は 4 月下旬～ 5 月上旬、第 1 世代成虫は 6 月下旬～ 7 月上旬、第 2 世代成虫は 7 月下旬～ 8 月上旬、第 3 世代成虫は 9 月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第 1 世代、第 2 世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。
- ・防除適期はそれぞれ 5 月上旬～ 6 月上旬、6 月下旬～ 7 月中旬であり、10～14 日間隔で防除する。
- ・りんごは、第 3 世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8 月中旬頃から 5 ～ 7 日間隔で防除する。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



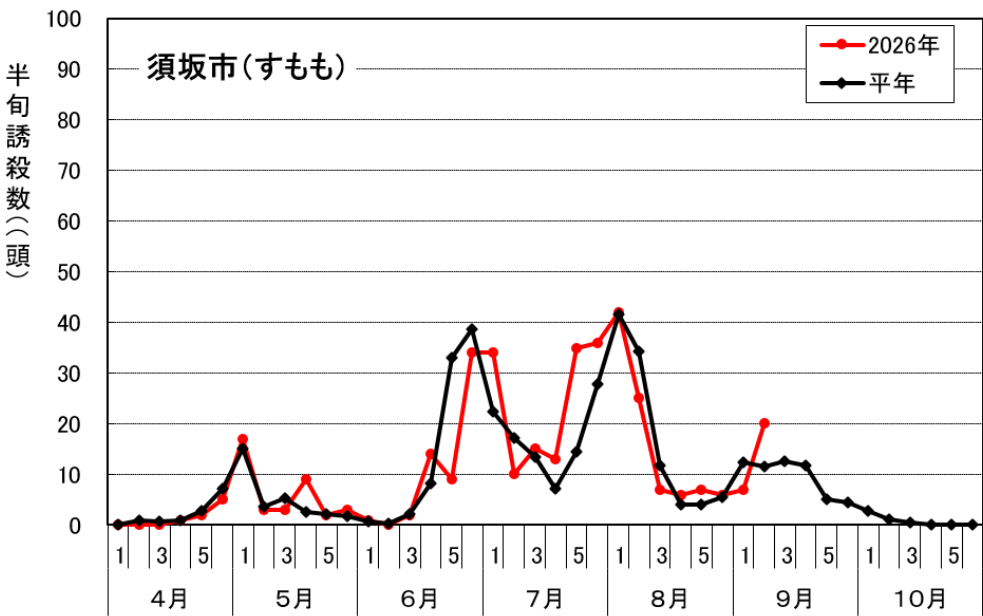
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

- ・8 月下旬から 9 月にみられる第 3 世代の誘殺数は、9 月第 1 半旬に急激に増加して平年の 2 倍ほどになったあと、第 2 半旬には急速に減少している。

○須坂市（病害虫防除部）



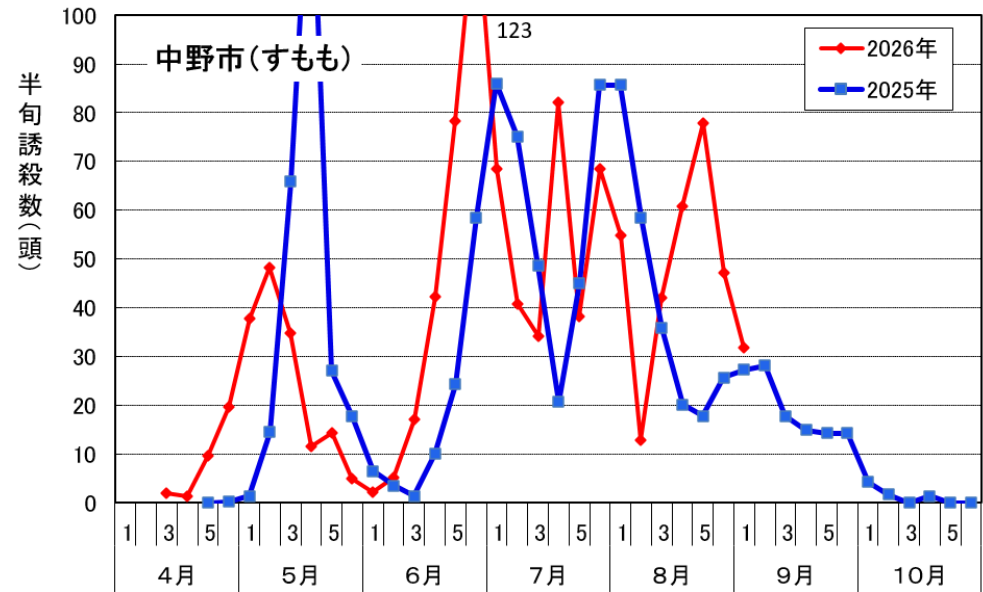
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

- ・ここまで、ほぼ平年と同じような誘殺傾向をたどっていた本地点であったが、9 月にみられている第 3 世代成虫の誘殺は、平年の 2 倍弱が記録されている。

○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024 年より設置のため、平年値なし。

【コメント】

- ・発消長の波が大きい傾向が続いている。通常、本種の年間発生数は、越冬世代を含め 3 を数えるが、本年は 8 月末時点で、5 回のピークが観察されている。世代数が増加していることにはならないが、他の 2 地点とは明らかに傾向が異なっている。